

資 料 編

可児市子どもの読書活動推進計画（第4次改訂版）

令和2年度～令和5年度取組実績一覧

評価 : 各方策の取組について、「できているか」・「できていないか」を表示したものです。

達成 取組ができている。

一部達成 一部取組ができている、または、取組を行っているが目標値が未達成である。

未達成 取組ができていない。

施策 : 実施状況を見て、第5次計画ではどのようにしていくかを表示したものです。

維持 今後も継続の方向で考えていくものです。

改訂 内容を見直すことによって、今後も取り組んでいくものです。

廃止 取組自体を取りやめるものです。

今後の方針 : 不足している点を補充したり、新たなものを取り入れたり、方向性を示したものです。

可児市子どもの読書活動推進計画（第4次改訂版） 令和2年度～令和5年度 取組実績一覧

※第4次改訂版（令和5年10月）策定時に修正した目標値を赤字記載し、第4次策定時の目標を（ ）書きで記載しています。

令和6年6月現在

方策4-1 家庭における子どもの読書活動推進

項 目	取 組	実施状況	目標項目（●目標値）	令和2年度実績 （3館合計）	令和3年度実績 （3館合計）	令和4年度実績 （3館合計）	令和5年度実績 （4館合計）	評価	施策	今後の方針
1	家庭教育学級、母子保健事業などでの読書のすすめ	○乳幼児学級等に出向き、絵本の紹介や読み聞かせ等、図書館司書による出前講座を実施している。 ○「赤ちゃんと絵本事業」では、保健センターの乳児健診時に、絵本の紹介・図書館の利用案内に加え、令和6年1月からはコロナ感染症予防のため中止していた貸出カードの新規登録の受付および絵本の貸出を再開した。	楽・学講座申込数 （司書派遣回数）	2回	11回	16回	20回	達成	維持	
2	各種情報発信による読書啓発と「うちどく（家読）10運動」の推進	○「かにっ子だより幼児向け・小学生向け」（月1回）、「ちびっこかにっ子だより」（年4回）発行。館内と図書館ホームページに掲載している。 ○毎年4月に、市内中学1年生全員を対象に、「うちどく10通帳」及び「うちどく10推薦図書リスト（中学生向け）」を配布している。	うちどく（家読）10通帳 発行件数 ●うちどく10通帳記入50冊 達成件数 目標値 50件 ●1カ月間の不読率 目標値 小学生 10% 中学生 40% ●1カ月間の一人あたりの 読書冊数 目標値 小学生 15冊 中学生 8冊	983冊 （未集計） 小学生 21.8% 中学生 40.6%	1077冊 （未集計） 小学生 28.9% 中学生 44.4%	689冊 15件 小学生 30.0% 中学生 46.0%	797冊 14件 小学生 27.5% 中学生 43.6%	一部達成	維持	読書啓発を促すため情報の発信方法と内容を検討する。
3	マイナス10カ月からつなぐ まなぶ かかわる 子育て支援となる読書機会の提供	○「マタニティ教室」及び「パパママ教室」で、これから赤ちゃんを迎える方へ、読書を習慣にする大切さについて啓発を行った。	—	—	—	—	—	達成	維持	

施策4-2 地域における子どもの読書活動の推進

項 目	取 組	実施状況	目標項目（●目標値）	令和2年度実績 （3館合計）	令和3年度実績 （3館合計）	令和4年度実績 （3館合計）	令和5年度実績 （4館合計）	評価	施策	今後の方針
1	図書館のリユース本を活用した図書コーナーの充実	○児童書のリユース本を本館に集約し、公共施設・団体向けリユース事業として希望する公共施設・団体に提供している。	—	—	—	—	—	達成	維持	
2	図書館の団体貸出サービスを活用	○各種団体（キッズクラブ、放課後等デイサービスなど）へ団体貸出しを実施している。	●団体貸出冊数 目標値 10,000冊 （3,000冊）	7,493冊	8,306冊	9,786冊	11,236冊	達成	維持	
3	地域のボランティアによる読み聞かせや催事の実施	○「かにっ子タイム」「ちびっこかにっ子タイム」「わらべうたで遊びましょう」など、ボランティアによる定期的な読み聞かせを各館で実施している。	—	—	—	—	—	一部達成	維持	ボランティア養成講座を開催し、読み聞かせボランティアのレベルの向上を図るとともに、新たなボランティアを増やす。

項 目	取 組	実施状況	目標項目（●目標値）	令和2年度実績 （3館合計）	令和3年度実績 （3館合計）	令和4年度実績 （3館合計）	令和5年度実績 （4館合計）	評価	施策	今後の方針
4	子育て健康プラザ マーンと図書館の連携	○図書館司書の出前講座として、マーンベビークラス（0歳児学級）での絵本の読み聞かせを実施している。	—	—	—	—	—	達成	維持	
5	気軽に使える絵本バック詰めサービスの実施	○キッズクラブ（毎月1回）と、幼稚園・保育園（3ヶ月に1回）に貸出を行っており、利用施設からは、子どもも職員も楽しみにしている と好評を得ている。	●絵本貸出し冊数 目標値 7,000冊 (3,000冊)	5,652冊	2,988冊	6,594冊	7,740冊	達成	維持	
			●施設数 目標値 30カ所 (20カ所)	25カ所	24カ所	25カ所	32カ所			
6	各関係施設と図書館との 連携・協力	○各施設へ図書館行事のお知らせポスター、チラシの設置・配布を依頼している。	—	—	—	—	—	一部達成	維持	関係施設から図書館への要望等を反映させる方法を検討する。

方策4－3 図書館における子どもの読書活動推進

項 目	取 組	実施状況	目標項目（●目標値）	令和2年度実績 （3館合計）	令和3年度実績 （3館合計）	令和4年度実績 （3館合計）	令和5年度実績 （4館合計）	評価	施策	今後の方針
1	良書の収集・保存と蔵書情報の提供	○児童書、大型絵本、紙芝居などを幅広く選書、活用している。 ○子ども向けバスファインダーの見直しを行っている。	—	—	—	—	—	達成	維持	
2	読書関連イベントと講座の開催	○「夏休みお話ひろば」、「シークレット本」、「図書館探検ゲーム」、「さんしろう絵本ライブ」など子どもたちが図書館や読書に興味をもってもらえるようなイベントを開催している。	図書館探検ゲームの参加人数	264人	207人	446人	713人	一部達成	維持	
3	「こどもの読書週間」の啓発と「かにっ子だより」などによる読書活動情報の発信	○「こどもの読書週間」に合わせてチラシや掲示物で啓発し、展示を行っている。 ○幼児・小学生向け「かにっ子だより」と乳幼児とその保護者向け「ちびっこかにっ子だより」を発行している。	—	—	—	—	—	達成	維持	
4	ホームページや「すぐメールかに」、その他の配信による啓発	○可児市公式YouTubeにて司書による「可児のむかし話」の読み聞かせなどを配信中。 ○カニミライブ図書館では、Instagramで読み聞かせ情報などを発信している。	—	—	—	—	—	達成	維持	チラシの配布先や、配布方法を検討し、より効果的な情報発信を検討する。
5	「かにっ子タイム」「ちびっこかにっ子タイム」の充実	○本館とカニミライブ図書館で幼児から小学生向け読み聞かせ「かにっ子タイム」を定期的に開催している。 ○本館では「わらべうたで遊びましょう」、分館では「ちびっこかにっ子タイム」を乳児とその保護者向けに定期的に開催している。	●かにっ子タイム参加人数 目標値 1,900人	（コロナ禍の影響で中止）	（コロナ禍の影響で中止）	（コロナ禍の影響で中止）	630人	一部達成	改訂	コロナのため開催を中止していた分館の「かにっ子タイム」を再開するとともに、参加者数を増やす方法を検討する。
			●ちびっこかにっ子タイム参加人数 目標値 980人	（コロナ禍の影響で中止）	71人	270人	424人			
6	「赤ちゃん絵本事業」「赤ちゃんタイム」など乳幼児の保護者への支援	○保健センター（子育て健康プラザマーン内）で行う乳児健診に合わせて、絵本の読み聞かせの重要性を啓発している。 ○本館では、「ちびっこかにっ子タイム」と「赤ちゃんタイム」は、ともにボランティアを十分に集めることができず、開催できなかった。	—	—	—	—	—	達成	維持	

項 目	取 組	実施状況	目標項目（●目標値）	令和2年度実績 （3館合計）	令和3年度実績 （3館合計）	令和4年度実績 （3館合計）	令和5年度実績 （4館合計）	評価	施策	今後の方針
7	ボランティア（ブックサポーター等）の育成と支援	○出前講座として、ボランティアを対象に読み聞かせの講習を行っている。 ○読み聞かせボランティアの交流会を開催し、意見交換を行っている。	●図書館でのボランティア登録人数 目標値 35人	51人	51人	42人	35人	達成	維持	ボランティア養成講座を開催し、読み聞かせボランティアのレベルの向上を図るとともに、新たなボランティアを増やす。
8	中高生が利用しやすい図書の選書と展示	○ライトノベルなど中高生向けの資料を意識して選書し、テーマを決めて展示や面陳による配架を行っている。 ○中学校職場体験や高校生インターンシップなど職場体験の受入れを行っている。	●中・高生の貸出冊数 目標値 16,000冊	7,703冊	9,040冊	10,535冊	10,258冊	一部達成	改訂	中高生を対象としたイベントや講座を企画、実施する。
9	障がい児や外国籍児童・生徒向け図書の充実	○点字絵本や文字の少ない絵本など障がい児向けのバリアフリー資料を収集した「りんごの棚」を設置している。 ○外国籍の児童・生徒に向けて多言語の図書の充実に努めている。	●障がい児支援本蔵書冊数 目標値 500冊 (120冊)	(+31冊 増冊)	274冊	302冊	340冊	一部達成	維持	図書の充実を図るため、支援学級や外国籍児童教室から必要とする図書の要望（アドバイス）を受ける方法を検討する。
			●外国語絵本蔵書冊数 目標値 1,000冊 (800冊)	(+73冊 増冊)	835冊	847冊	920冊			
10	電子書籍の導入の検討	○令和5年度末時点で、岐阜県および県内9市で電子書籍サービスを開始している。	—	—	—	—	—	一部達成	改訂	5年後の電子書籍の導入を目指す。
11	「バック詰めサービス」と「気軽に使える絵本バック詰めサービス」の提供	○学校等から依頼のあったテーマで本をまとめて貸し出す「バック詰めサービス」を行っている。 ○キッズクラブと幼稚園・保育園に、定期的に「気軽に使える絵本バック詰めサービス」を行っている。	●バック詰めサービス貸出件数 *気軽に使える絵本バック詰めサービス含む *幼稚園・保育園への絵本バック含む 目標値 50件	41件	28件	38件	44件	一部達成	改訂	学校等からの要望を聞く機会を設け、バックの種類を充実させる。
12	学校等への移動図書館の巡回	○移動図書館の小学校への巡回は、コロナ感染症拡大防止のため令和2年度より中止した。 ○一般の利用者の減少や車両の老朽化等の理由により、令和5年9月の巡回をもって廃止した。	●小学校での貸出し冊数 目標値 10,000冊 *令和5年9月末で事業廃止	(コロナ禍の影響で中止)	(コロナ禍の影響で中止)	(コロナ禍の影響で中止)	事業廃止	—	—	
13	関係機関との連携・協力	○関係団体と図書館だよりやパンフレット等の交換および館内でのPRを行っている。 ○職員による出前講座を実施し、絵本の紹介や図書館の利用方法の説明等を行っている。	—	—	—	—	—	達成	維持	
14	学校との連携	○学校の利用や要望に応じてバック詰めサービスセット内容を更新している。	—	—	—	—	—	一部達成	維持	読書活動推進やバック詰めに関し、学校と協議していく必要がある。
15	岐阜医療科学大学との連携	○岐阜医療科学大学図書館との相互貸借を行っている。 ○かにか子タイムでの学生ボランティア協力について相談している。	—	—	—	—	—	達成	維持	具体的に連携可能な内容について協議していく必要がある。
16	子どもの読書活動に関するアンケートの実施	○毎年12月に指定する小学校4校及び中学校3校の小学校3年生・6年生及び中学2年生を対象にアンケートを実施している。	—	—	—	—	—	達成	維持	

方策４－４ 学校における子どもの読書活動推進										
項 目	取 組	実施状況	目標項目（●目標値）	令和２年度実績 （３館合計）	令和３年度実績 （３館合計）	令和４年度実績 （３館合計）	令和５年度実績 （４館合計）	評価	施策	今後の方針
1	読書習慣の確立と読書指導の充実	○公立小学校すべて（１１校）と公立中学校２校で読書活動や授業等に関連した図書の紹介などの特設コーナーを設置している。	—	—	—	—	—	達成	維持	
2	図書館との連携による学校図書館の充実	○学校の利用や要望に応じてバック詰めサービスの内容を更新している。	●バック詰めサービス利用 件数 目標値 50件	17件	6件	11件	11件	一部達成	維持	学校等からの要望を聞く機会を設け、バックの種類を充実させる。
3	朝読書や昼読書などの実施	○公立小・中学校でそれぞれのルールを決めて朝読書を実施している。	—	—	—	—	—	達成	維持	
4	ボランティアやＰＴＡ母親委員の協力による読書推進	○ほとんどの公立小学校で、ボランティア団体やＰＴＡの方による読み聞かせを定期敵に開催している。	—	—	—	—	—	達成	維持	
5	読書に関する行事の実施	○ほとんどの小中学校で図書館祭りや読書に親しむためのイベントやお勧めの本の紹介などを実施している。	—	—	—	—	—	達成	維持	
6	学級文庫や特設文庫などの設置と充実	○ほとんどの小中学校に学級文庫あるいは特設文庫が設置されており、図書館の除籍本を活用するなど、定期的な入替をしている。	—	—	—	—	—	達成	維持	
7	学校司書による読書環境づくりの推進	○家庭での親子読書の取り組みを推進している。	—	—	—	—	—	達成	維持	学校司書と図書館司書の情報交換をし、協力して読書環境づくりを推進していく。
方策４－５ 幼稚園・保育園における子どもの読書活動推進										
項 目	取 組	実施状況	目標項目（●目標値）	令和２年度実績 （３館合計）	令和３年度実績 （３館合計）	令和４年度実績 （３館合計）	令和５年度実績 （４館合計）	評価	施策	今後の方針
1	園の本等の充実	○季節や行事に関する絵本や紙芝居、図鑑などを子どもの年齢を意識しながら準備している。 ○園の本だけではなく、可児市図書館の団体貸出や絵本バックを活用して絵本に接する時間を多くしている。 ○迫力があり特別感が出る大型絵本を、お誕生日会の時に図書館で借りて読んでいる。	●幼稚園・保育園の団体貸 出利用冊数 目標値 5,000冊 (200冊) ●気軽に使える絵本バック 詰めサービス利用施設数 目標値 25施設 (5施設)	1,975冊	3,600冊	3,996冊	4,392冊	一部達成	維持	
2	読み聞かせやお話の時間の充実	○毎日、決まった時間や、子どもたちが求めたときにも、保育士の膝に座ったりしながら個別に絵本を読んだりしている。 ○未満児には、歌や手遊びの絵本なども取り入れている。	—	—	—	—	—	達成	維持	絵本の選択や読み聞かせの方法等に関する講座を開催し、読み聞かせの技術向上を目指す。
3	本を貸し出し、親子で本に親しむ機会づくりの推進	○約半数の園で、子どもたちが好きな絵本を選んで家庭に持ち帰り、親子で絵本を読む時間を設けている。	—	—	—	—	—	達成	維持	

可児市子どもの読書アンケート調査
(市内小学校・中学校児童生徒)

令和2年度 ～ 令和5年度

結 果 報 告 書

1. 調査目的

可児市子どもの読書活動推進計画（第4次）において、図書館における子どもの読書活動の推進に掲げた取組「16. 子どもの読書活動に関するアンケートの実施」を実施し、家庭における子どもの読書実態について、令和2年度から令和5年度の4年間の調査結果をまとめた。

2. 調査対象

可児市内小学校及び中学校から規模・地域性を考慮して、下記のとおり抽出した学校・学年及び学級児童生徒を対象とした。（クラスの抽出については、各小中学校に一任）

- 小学校4校 ⇒ ・春里小学校、今渡南小学校、今渡北小学校、広見小学校
・3年生 及び 6年生各2クラスまたは3クラス
- 中学校3校 ⇒ ・中部中学校、広陵中学校、東可児中学校
・2年生2クラスまたは3クラス

3. 調査対象期間

該当年度の11月1日から11月30日までの1ヶ月間

4. 調査基準日

該当年度の12月1日

5. 調査方法

- 令和2年度から令和4年度 ⇒ 対象となった各学校を通じて児童・生徒にアンケートを配布・回収し、学校司書がまとめて可児市立図書館へ提出する。
- 令和5年度 ⇒ 対象となった各学校を通じて児童・生徒へオンラインで回答を依頼する。

6. 調査実施人数

◎小学3年生

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回答児童数	269	276	336	162
市内 児童数	935	929	898	892
割 合	28.8%	29.7%	37.4%	18.2%

◎小学6年生

(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回答児童数	209	283	400	249
市内 児童数	928	870	952	932
割 合	22.5%	32.5%	42.0%	26.7%

◎中学2年生

(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回答生徒数	207	252	288	220
市内 生徒数	925	870	893	893
割 合	22.4%	29.0%	32.3%	24.6%

◎合計（小学3年生＋小学6年生＋中学2年生）

(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回答生徒数	685	811	1,024	631
市内 生徒数	2,788	2,669	2,743	2,717
割 合	24.6%	30.4%	37.3%	23.2%

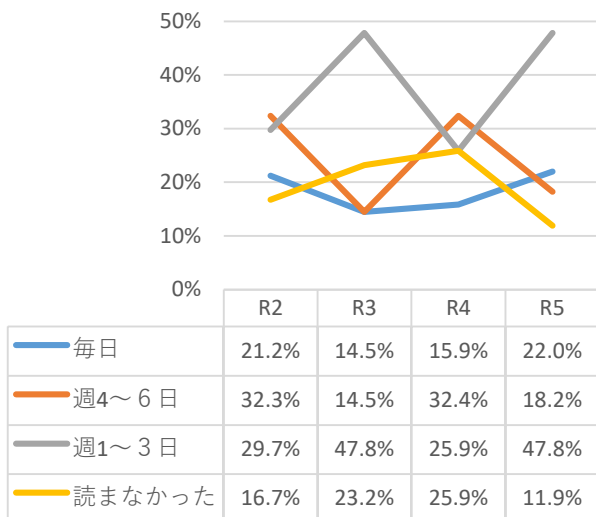
質問事項と集計結果

【質問1】 11月中に家で本を読みましたか。（回答は1つ）

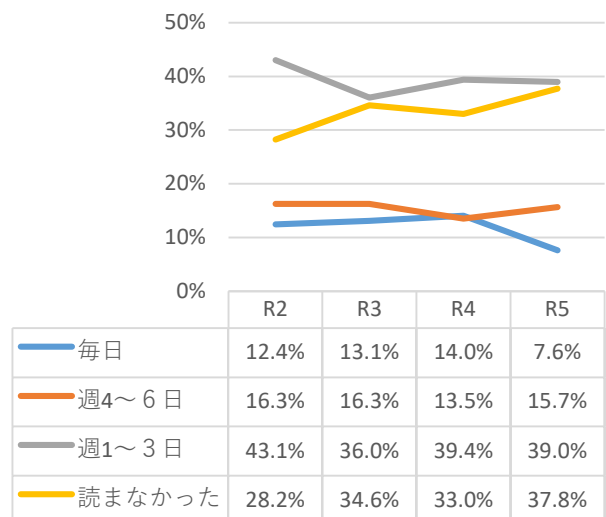
【回 答】 ①毎日読んだ ②週に4～6日読んだ ③週に1～3日読んだ ④読まなかった

- 小学3年生は、令和2年度以降平均80%の児童が1ヶ月間に読書をしていました。令和2年度以降、読書をした児童が減少傾向にありましたが、令和5年度は読書をした児童が14ポイント増加しました。
- 小学6年生は、令和2年度以降平均66%の児童が1ヶ月間に読書をした結果となりました。平成30年度をピークに年々読書をした児童が減少傾向にあります。
- 中学2年生は、令和2年度以降平均57%の生徒が1ヶ月間に読書をした結果となりました。令和2年度以降読書した生徒は減少傾向にありましたが、令和5年は読書をした生徒が2.4ポイント増加しました。
- 全体では、令和2年度以降平均37%の児童・生徒が1ヶ月間に読書をした結果となりました。年齢が高くなるにつれ、読書をする児童・生徒の割合は減少しており、年度によりばらつきはありますが、全体で約30%の児童・生徒が読書をしていない事がわかります。

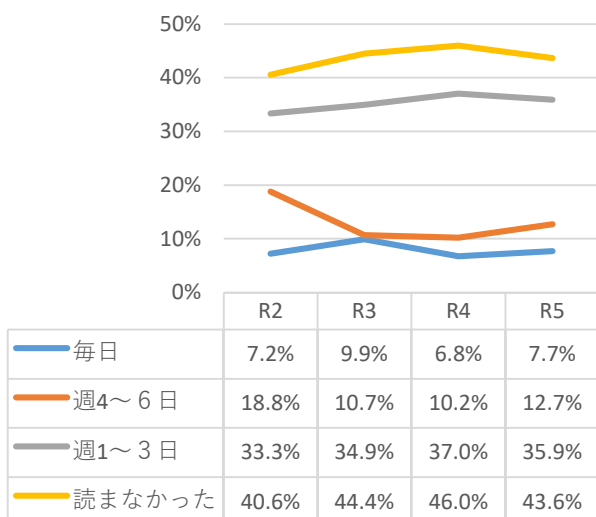
読書した日数（小3）



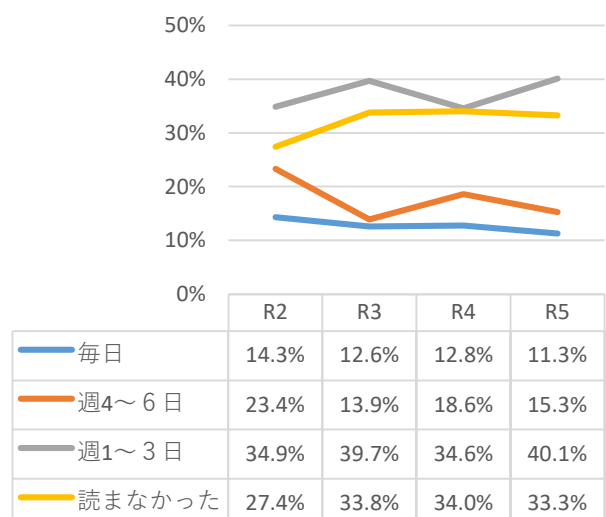
読書した日数（小6）



読書した日数（中2）



読書した日数（合計）



【質問2】 質問1で①～③と答えた人は、1日平均の読書時間をお答えください。（回答は1つ）

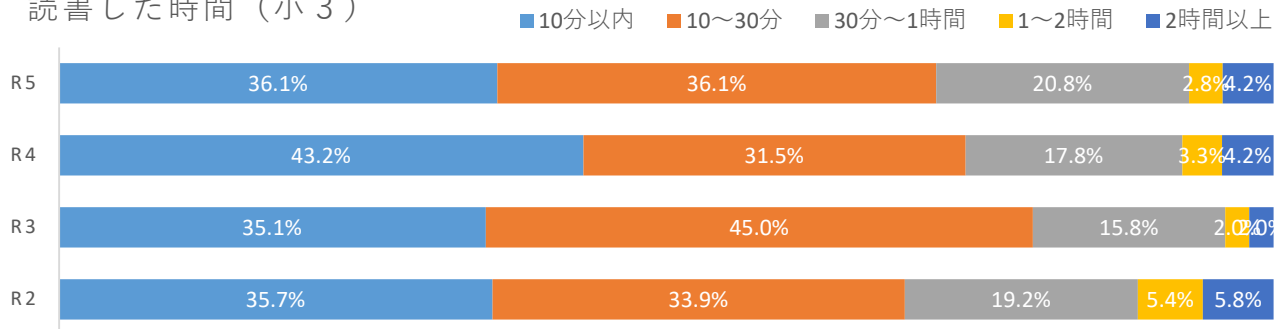
【回 答】 ①10分くらいまで ②10分から30分くらい ③30分から1時間くらいまで

④1時間から2時間くらいまで ⑤2時間以上

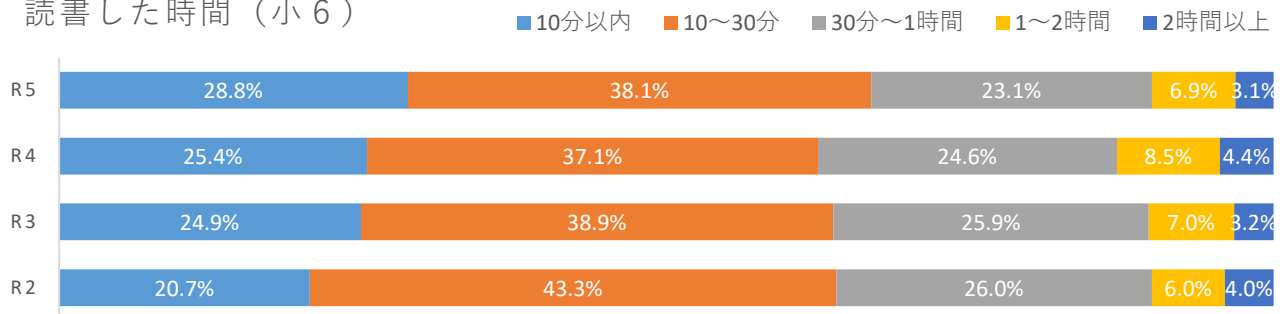
○ 読書にかかる時間は、小学生3年生は10分くらいまたは30分くらいが多く、小学6年生は30分くらい、中学2年生は30分くらいまたは1時間くらいが多く、年齢が高くなるにつれ、読書にかかる時間が長くなっています。

○ また、全体の10%程度の児童・生徒は1時間以上の時間を読書にかけていることがわかります。

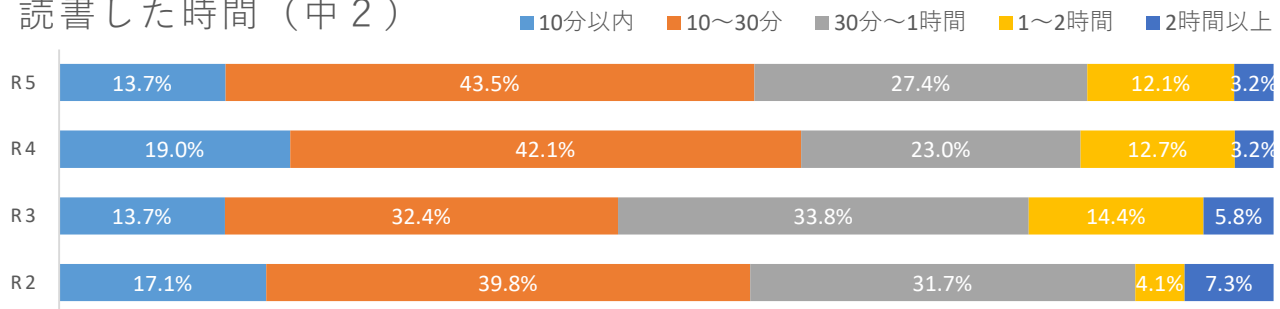
読書した時間（小3）



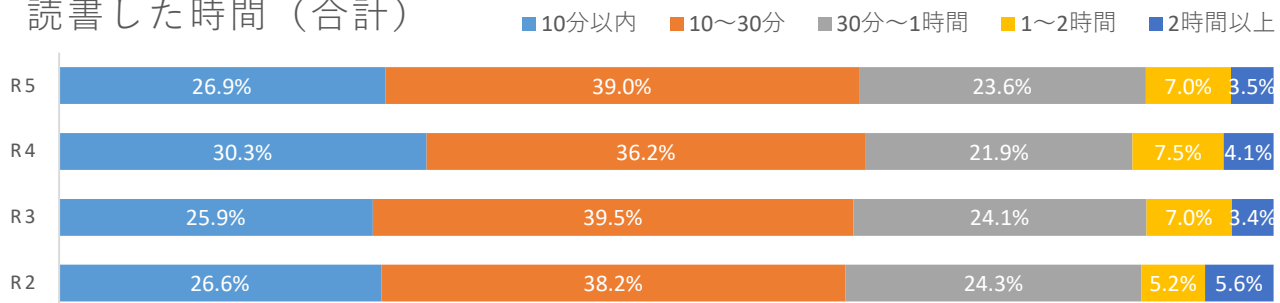
読書した時間（小6）



読書した時間（中2）



読書した時間（合計）



【質問3】 質問1で①～③と答えた人は、家で1ヶ月（11月中）に何冊読みましたか。冊数をお答えください。

【回 答】 読書した人の平均冊数

○ 令和2年度以降の読書した人の平均読書冊数は、小学3年生が13.7冊、小学6年生が9.5冊、中学2年生が5.6冊、全体で10.1冊でした。

○ どの年度も、中学2年生の平均読書冊数が一番少ない結果となりました。

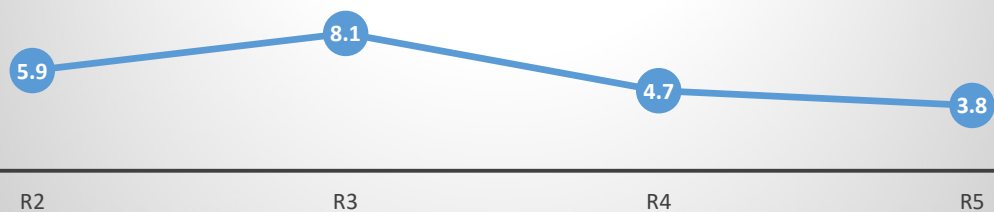
11月中の平均読書冊数（小3）



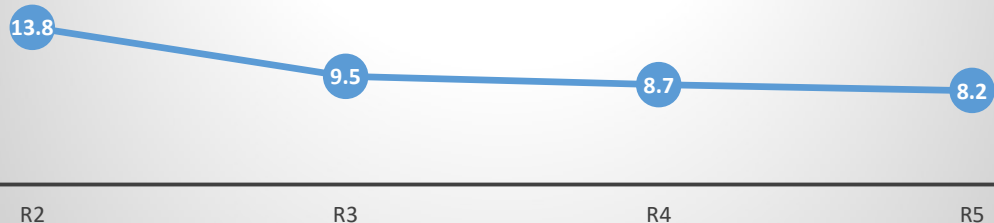
11月中の平均読書冊数（小6）



11月中の平均読書冊数（中2）



11月中の平均読書冊数（合計）



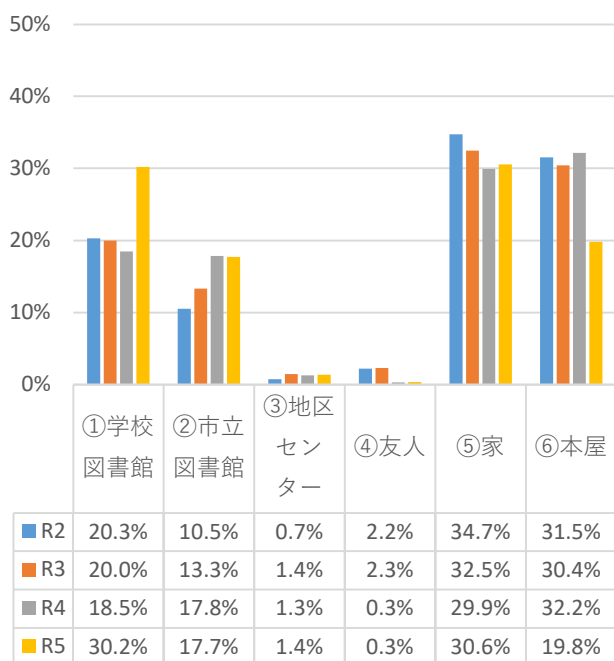
【質問4】 質問1で①～③と答えた人は、本をどこで借りましたか、または買いましたか。（回答はいくつでも）

【回 答】 ①学校図書館 ②可児市立図書館 ③近くの地区センター（文庫） ④友達から借りた
⑤家にあった ⑥本屋で買った

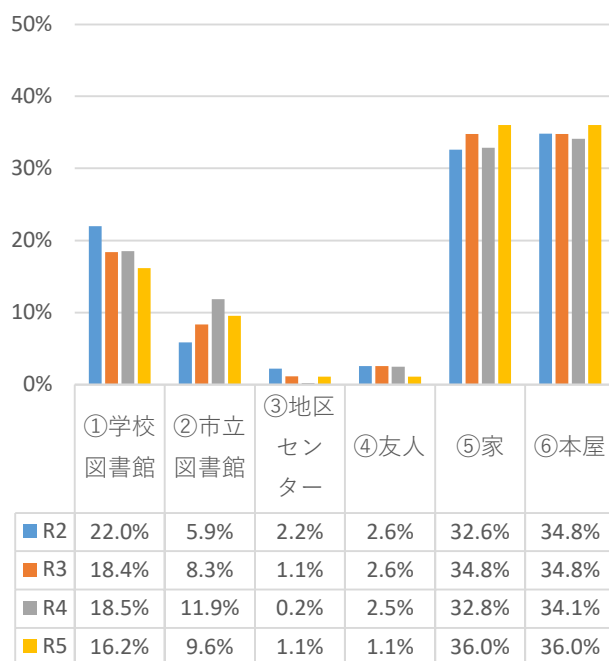
○ 「本をどこで借りたか、または買ったか」の設問では、令和2年度以降の全体で多い順に、⑥本屋で買った、⑤家にあった、①学校図書館、②可児市立図書館、④友達から借りた、③近くの地区センターでした。

○ 本を借りて読むより、好きな本を買って読む児童・生徒が多いことがわかります。

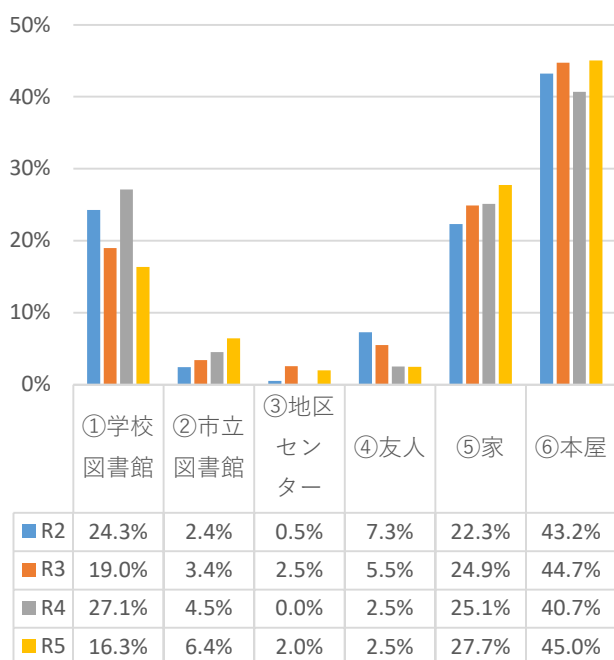
どこで借りた（買った）か（小3）



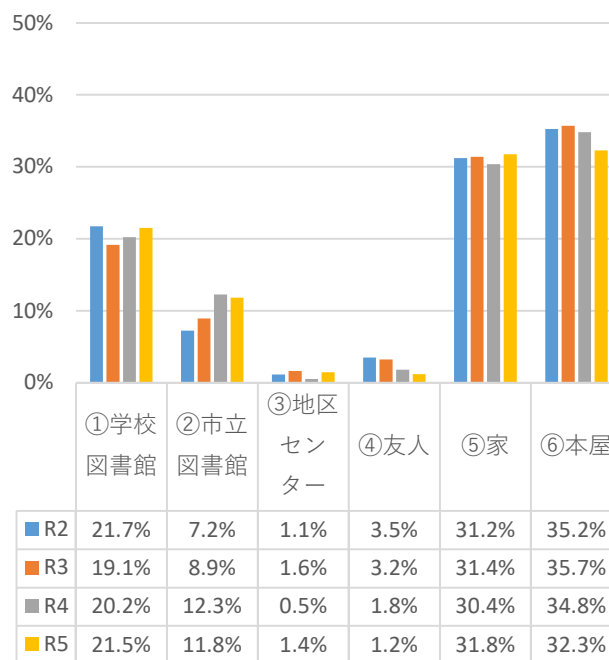
どこで借りた（買った）か（小6）



どこで借りた（買った）か（中2）



どこで借りた（買った）か（合計）

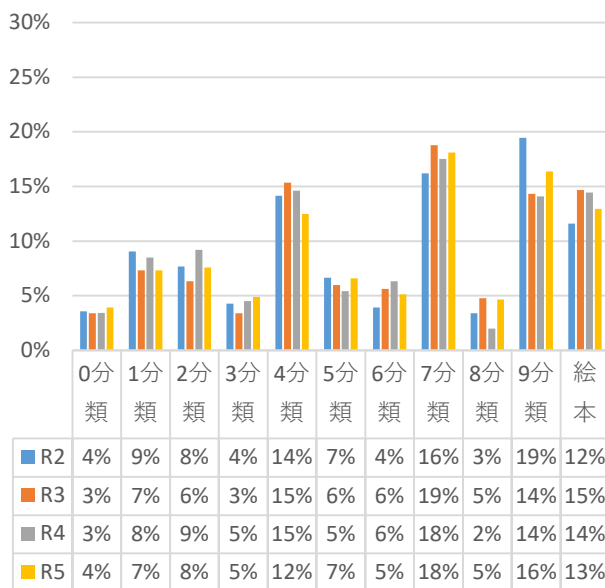


【質問5】 質問1で①～③と答えた人は、どんな分類の本を読みましたか。（回答はいくつでも）

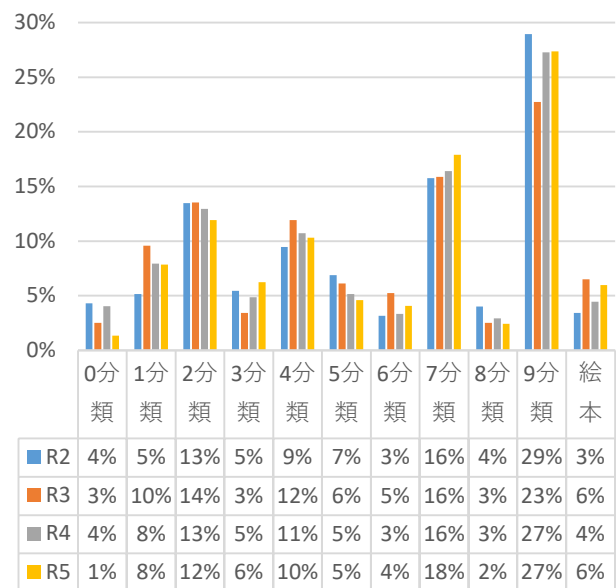
【回 答】 ① 1分類（哲学など） ② 2分類（歴史など） ③ 3分類（政治など） ④ 4分類（生物など）
 ⑤ 5分類（乗り物など） ⑥ 6分類（農業など） ⑦ 7分類（スポーツなど）
 ⑧ 8分類（語学など） ⑨ 9分類（小説など） ⑩ 0分類（百科事典など） ⑪ 絵本

○ 全体的に、9分類（小説など）が最も多く、2番目に7分類（スポーツなど）、3番目は4分類（生物など）の順で読まれています。

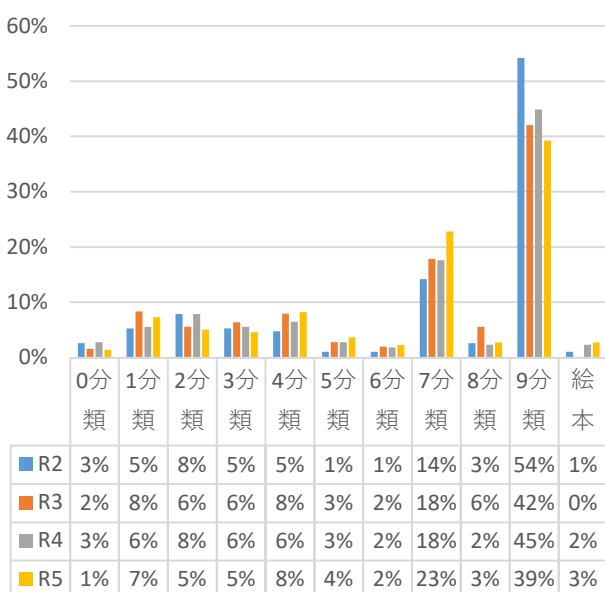
読んだ本の分類（小3）



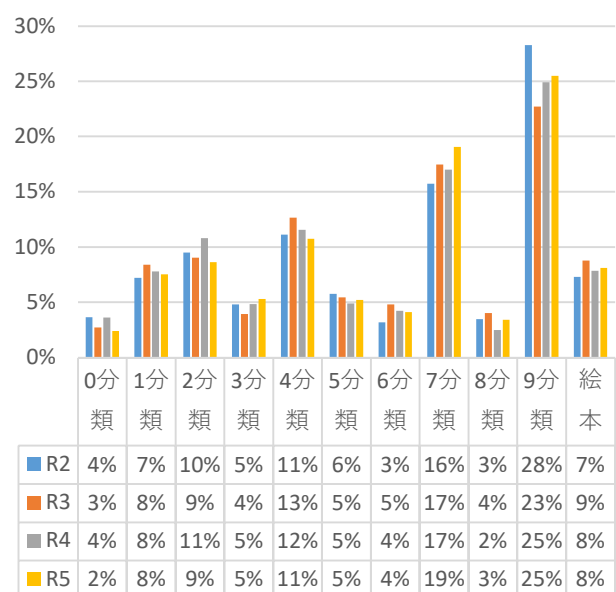
読んだ本の分類（小6）



読んだ本の分類（中2）



読んだ本の分類（合計）



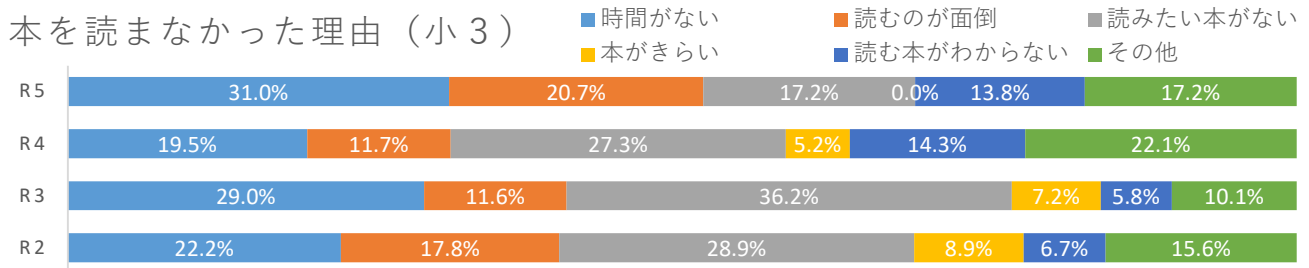
【質問6】 質問1で④読まなかったと答えた人は、その理由をお答えください。

【回 答】 ①読む時間がない ②読むのが面倒だから ③読みたいと思う本がないから
④本がきらいだから ⑤何を讀んだらいいかわからないから ⑥その他

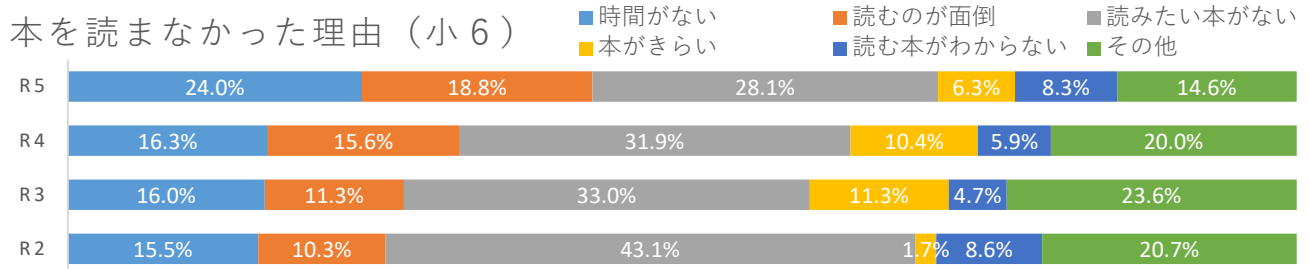
○ 家であまり本を読まない児童・生徒に理由を聞いた設問では、令和2年度以降全体で最も多いのが③読みたいと思う本がないから（平均33%）、次に①読む時間がない（平均23%）、②読むのが面倒だから（平均17%）という順番になりました。

○ 読書の時間を確保するのが難しくなっているのと、本への興味がわからない児童生徒が増えていることがわかります。

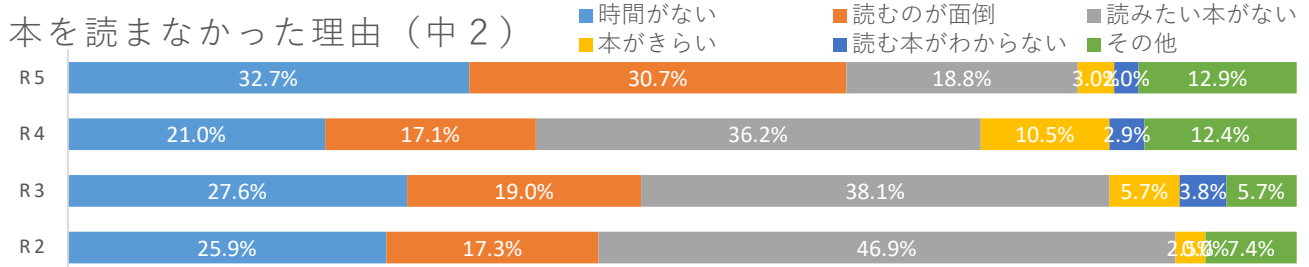
本を読まなかった理由（小3）



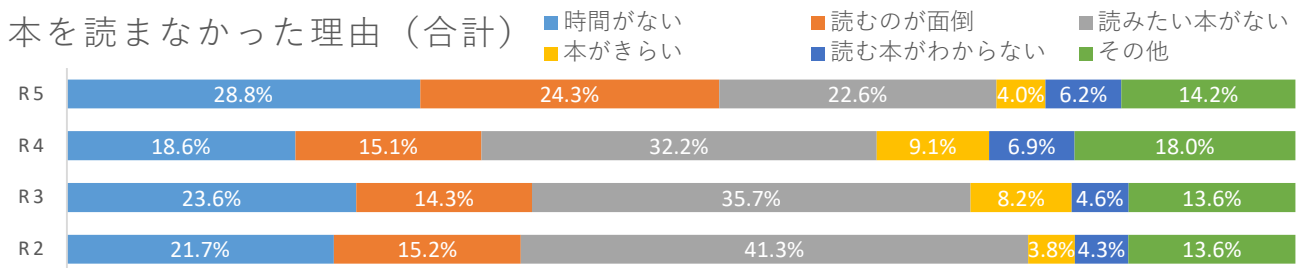
本を読まなかった理由（小6）



本を読まなかった理由（中2）



本を読まなかった理由（合計）



○ 本を読まなかったその他の理由

- ・本に興味がないから
- ・本以外のことに時間を使っているから
- ・家に読む本がなかったから
- ・漫画しか読まない
- ・学校で読むから家で読もうと思わない
- ・本屋などに行く機会がない
- ・自分の好きな本を買ってもらえない
- ・読みたい本が図書館のどこにあるかわからない
- ・集中できないから
- ・学校で読むほうが好きだから
- ・なんとなく
- ・雑誌系のみしか読まないから
- ・読もうと思わないから
- ・家に本を置く場所がない

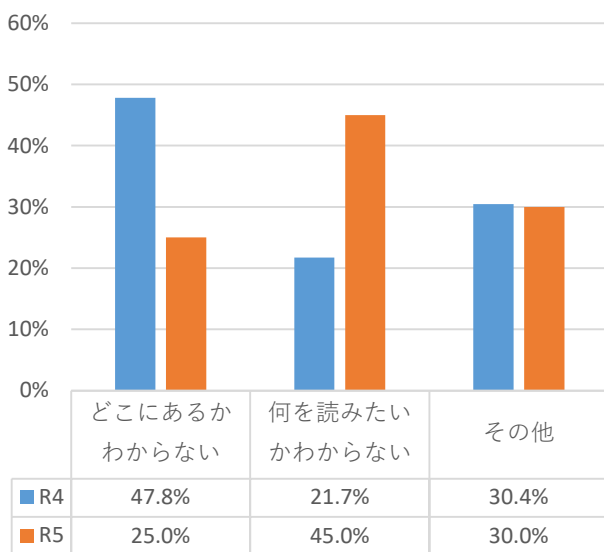
【質問7】 質問6で③読みたいと思う本がないからと答えた人は、その理由はなんですか。

【回 答】 ①読みたい本がどこにあるかわからない ②自分が何を読みたいのかわからない ③その他

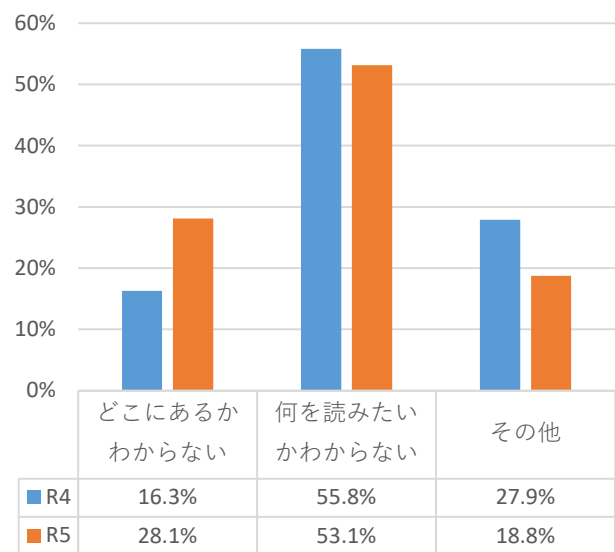
*この設問は令和4年度から開始しました。

- どの学年も7割以上の児童・生徒が「読みたい本がどこにあるかわからない」または「自分が何を読みたいのかわからない」という回答になりました。
- その他では、「漫画が好きだから」「雑誌系を読んでいるから」という意見が多くみられました。また、「家では読まないが学校では読んでいる」という回答もあり、本を全く読まないわけではないため、読みたい本を見つけられるようなきっかけ作りが必要だと考えられます。

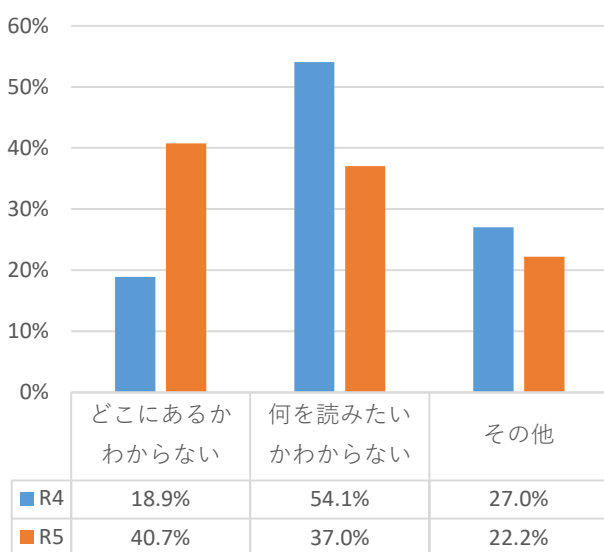
読みたい本がない理由（小3）



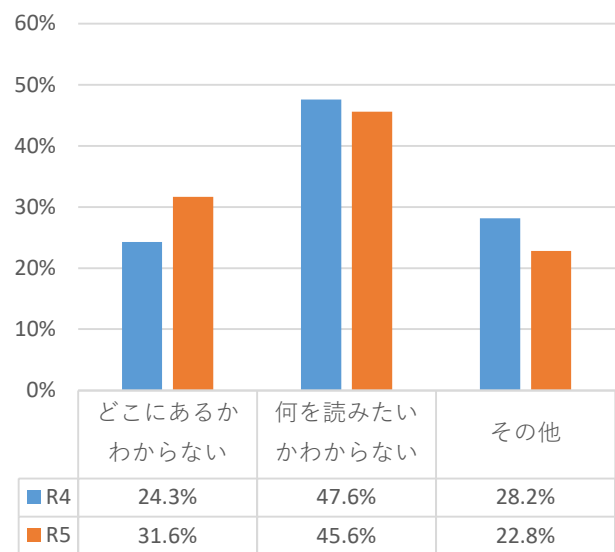
読みたい本がない理由（小6）



読みたい本がない理由（中2）



読みたい本がない理由（合計）



○ 読みたいと思う本がないその他の理由

- ・漫画が好きだから
- ・雑誌系を読んでいるから
- ・ほかにしたいことがあるから
- ・よくわからないから
- ・小説にあまり興味がないから
- ・ゲームのほうが好きだから
- ・学校で読んでいるから
- ・家に本がない

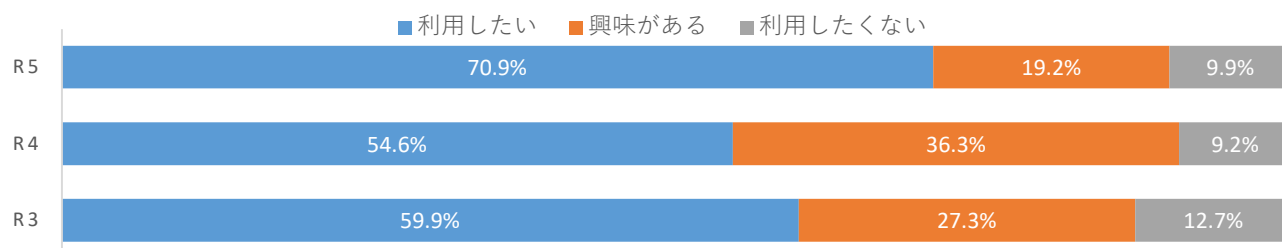
【質問8】自分のスマートフォンやタブレットなどで読める本が図書館で借りられるなら、利用してみたいですか。

【回答】①利用したい ②興味はある ③利用したくない

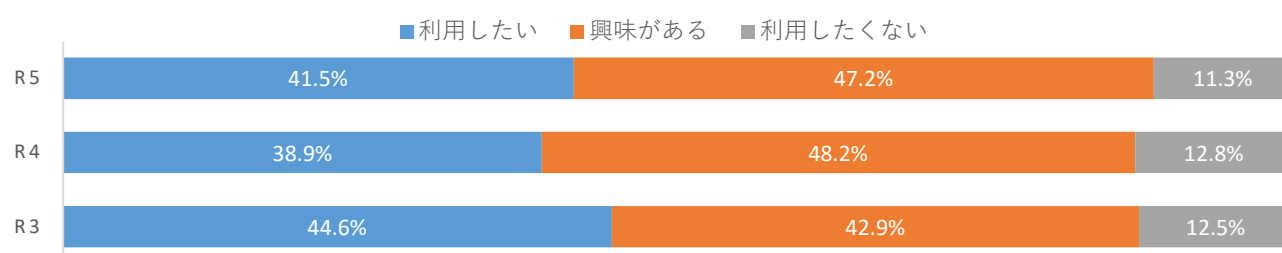
*この設問は令和3年度から開始しました。

○ 令和3年度に調査始めて以降、全体として約9割の児童・生徒が電子書籍に興味があり、利用したいと考えていることがわかります。

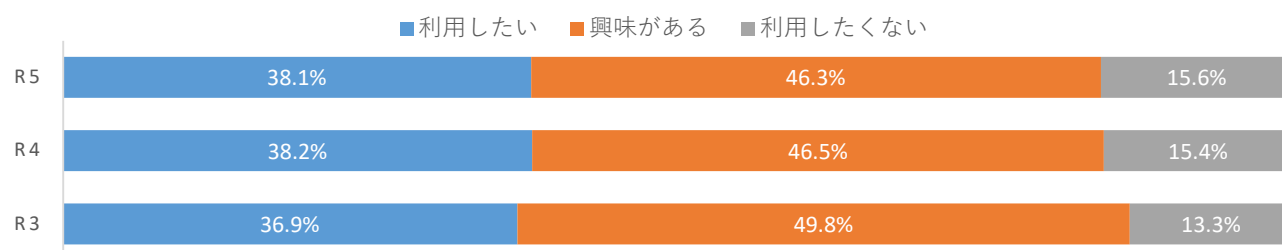
図書館での電子書籍の利用について（小3）



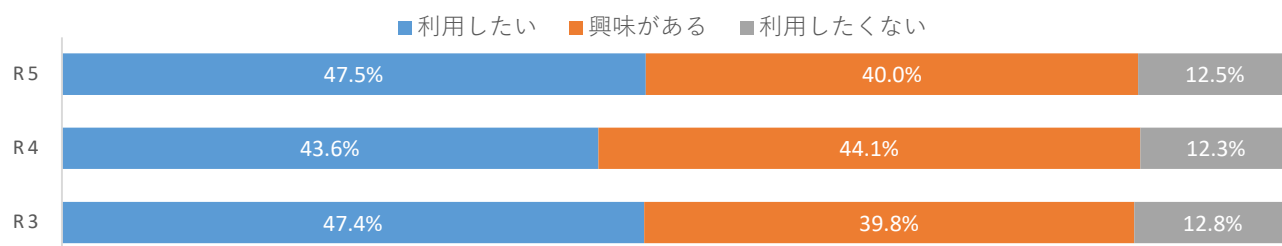
図書館での電子書籍の利用について（小6）



図書館での電子書籍の利用について（中2）



図書館での電子書籍の利用について（合計）



可児市子どもの読書活動推進計画に関する実績アンケート調査まとめ（令和6年3月実施）

【幼稚園・保育園等】

※回答いただいた内容をそのまま掲載しています。

アンケート回収率 21園 65.6%（うち、公立5園 100%、その他16園 59.3%）

施策の現状	具体的な実施内容についてご記入ください
①貴園における絵本の充実について 特に力を入れている事項等ありましたら記入してください。	・予算に余裕があるときは、絵本を購入するなどして新しい本を購入している。 ・季節や行事に関する絵本や紙芝居、また、満三歳児も楽しめる絵本や年長児が考えながら楽しめる本や図鑑など年齢も意識しながら準備している。 ・図書館の団体用の貸し出しや、保育園、幼稚園への巡回貸し出しを利用して、本に接する時間を多くしている。 ・季節や行事のもの。又は生活に関連するもの。参加できるものなど、幅広く読みきかせできるようにしている。集中できるし、こどもたちが今興味あるものなど選んで読んでいる。 ・園の本だけではなく、可児市図書館や団体貸出サービスを利用しています。また、大型絵本は迫力があり特別感が出るのでお誕生日会の時に図書館で借りている。 ・日頃子どもと関わっている担任の声を聞き、子どもが喜びそうな絵本を選んで購入するようにしている。 ・子ども達に人気のあるシリーズや図鑑など、傷みが激しかったりする場合は買い直したり、買い足したりしながら常に子ども達が絵本に親しめる環境を整えている。 ・森の図書館として様々な本を置いている。 ・毎月、各クラスにその季節にあった絵本を購入している。 ・子どもの年齢に合った絵本を職員で選び、定期的に購入している。 ・未満児に適した絵本を選ぶ 予算内で購入。 ・定期的に購入 ・市立図書館から貸していただく本を入れ替えていくことで、より多くの本に親しむ環境を整えている。
②読み聞かせの状況について	・行っている 20園〔毎日 12園〕 ・朝の会の会の始まり時、保育中の待ち時間、午睡前の時間などに子どもたちに読み聞かせを行っている。また、未満児の園なので歌や手遊びの絵本なども取り入れている。 ・静と動の切り替えの時や、子どもが求めてきた時に読んでいる。 ・こどもたちが集まる時間、朝の会、帰りの会、お昼寝の前、行事の時など。 ・クラスで担任が読み聞かせる。 ・子どもが要求してきたら、個人的に読み聞かせる。 ・遅番、早番等で、担当保育士が読み聞かせる。 ・朝、バス登園した子たちがクラスに分かれるまでの時間に読み聞かせをする。 ・昼食後や活動前など、気持ちを落ち着かせたり、次の活動に見通しを持たせるために読み聞かせる。 ・降園前、気持ちを落ち着かせ集中して話が聞けるように。 ・生活、活動の中で決まったタイミングで読み聞かせをするほか、自由に遊んでいる時間にも、子どもが保育士の膝に座るなどしながら個別に絵本を読んだりもしています。 ・紙芝居や、絵本（家庭から子どもが持ってきた本なども読みます）。活動の合間。 ・帰りの会には必ず読み聞かせをしている。 ・給食後の戸外遊び前、または帰りの会で読むことが多い。 ・活動の節目等で、ゆったりとした時間を持つ際に読み聞かせをしている。

施策の現状	具体的な実施内容についてご記入ください
	・ 昼寝前、帰りの会などに実施 ・ 季節にあった絵本、物語、年齢にあった内容のものなど様々なジャンルのものを担任が意図的にえらび子どもたちに読み聞かせている。 〔週6日 2園〕 ・ お散歩前やおやつ前などに季節に合ったものや子供たちの好きな絵本を選んで読んでいます。また「ひなまつり」「たなばた」などの行事の時には、内容を分かりやすく伝えるために絵本や紙芝居を読み聞かせしている。 ・ 体操後 給食準備中 朝の会 帰りの会 子どもから要求があった時等 ・ 朝の会が終わった後、行事の時読んでいる。 〔週5日 6園〕 ・ 各クラス一日に2回または1回は読み聞かせを行っている。 ・ なかよしタイム（異年齢でのあそびの時間）に「お話タイム」を設け、担当教師が季節や行事に関する絵本や紙芝居の読み聞かせをしている。 ・ 各教室で、担任が年齢に応じた季節や行事に関する絵本や紙芝居の読み聞かせをしている。 ・ 給食前や、帰りの会で、行っている。 ・ 個人配布用の月刊絵本や幼稚園図書、紙芝居などを、毎日の保育の隙間時間やバスを待つ子どもたちに向けて読み聞かせている。 ・ お帰りの前に紙芝居や絵本を見せている。 ・ 未回答 1園
③絵本の貸出について	行っている 9園 ・ 年少、年中、年長児は、毎週1回子どもが好きな絵本を選び、貸出を行っている。0,1,2歳児は、毎週1回、保護者とともに絵本を選んでいただき、貸出を行っている。 ・ 「親子読書」として学年ごとに用意した絵本を、毎週金曜日に園児が自分で選んで家庭に持ち帰り、親子で楽しむことをねらいとして実施している。絵本は翌週木曜日に園に返却することとしている。 ・ 保育園の絵本を子どもが選んで借りている。 ・ 年長組は随時、読んだ絵本を返した際に新しい絵本を借りていく。 ・ 年中・年少組は貸出日（1週間）を決めて絵本を借りたり返したりする。 ・ 貸出絵本カードを作り、週末に担任と園児が図書室で本を選びます。 ・ 水曜日に貸出を行い、翌週月曜日に返却を行っている。 ・ 毎週金曜日に絵本の貸出を行っています。 行っていない 12園 ・ 夏のお盆期間や冬の正月休み等、長期休みの際に貸し出しをしています。
④図書館への要望について ※図書の団体貸出サービスや絵本の読み聞かせボランティアの派遣、職員研修の講師派遣等、図書館への要望がありましたら記入してください。	・ 大きい絵本の貸し出しがあると子供たちへの読み聞かせに活用できるかと思っている。 ・ 現在可児市図書館からの絵本・紙芝居の貸出サービスを利用させていただいていますが、幼稚園にない内容のものがほとんどなので子どもたちも新鮮な気持ちで見ることができ、とても楽しみにしています。また、学期に1回読み聞かせボランティアさんに来園していただき年長組の子どもたちにストーリーテリングの時間を設けて楽しませていただいている。絵本離れやデジタル画像に頼りがちな現代ですが、少しでも絵本に親しむ機会が増えるよう、これからも利用させていただきたい。 ・ 未満児の保育園、絵本大好きで特にだるまさんシリーズがお気に入り。絵本読み聞かせの方が来ていただけると嬉しい。

施策の現状	具体的な実施内容についてご記入ください
	・引き続き、団体貸し出しサービスを活用させていただきたい。 ・貸出サービスがあり大変助かっている。今後も継続してほしい。 ・機会があったら読み聞かせのボランティアをお願いできればと思う。 ・「気軽に使える絵本バック詰めサービス」を来年度初めて利用させていただくため、どのような内容の本が届くか楽しみにしている。 ・図書館の本のバック詰めサービスを利用させていただいているが、大型絵本や、パネルシアター、エプロンシアターなど希望すればそちらも一緒に貸していただけるようになるとありがたい。 ・現在は大丈夫だが、今後職員から希望が出たらお願いしたい。 ・読み聞かせボランティアがあればうれしい。 ・絵本の新刊情報を図書館で一覧として配布して下さると参考になる。また、乳幼児向けの大型絵本をさらに充実して頂けると嬉しい。 ・職員の方や読み聞かせのことをよくわかっていらっしゃる方に読み聞かせを行ってもらい、保育士がそれをみて、より良い読み聞かせ方を学ぶ機会がほしい。 ・お薦めの絵本などがありましたら、情報を提供して頂けるとありがたい。
その他	・DVDなど子どもたちの教育に関するものがあると嬉しい。 ・小規模保育園なのでたくさん本を常時置くことが難しいが、本の貸し出し利用は、定期的に本が入れ替わり子どもも職員も楽しみにしている。新たな本の発見も出来て嬉しい。 ・毎月、絵本を貸していただき感謝している。季節ものや行事の絵本も入れていただけるとありがたい。

可児市子どもの読書活動推進計画に関する実績アンケート調査まとめ（令和6年3月実施）

【公立小学校・公立中学校】

アンケート回収率 公立小学校 11校（100％） 公立中学校 5校（100％）

施策の現状	回 答	小学校	中学校
① 読書習慣の確立と読書指導の充実・授業に関連した図書の紹介など図書室内に特設コーナーの設置	設置している	11校（100％）	2校（40％）
	設置していない	0校（0％）	3校（60％）
② 朝読書や昼読書などの実施について	朝の時間に実施	11校（100％）	4校（80％）
	朝の時間以外に実施	0校（0％）	0校（0％）
	未実施	0校（0％）	1校（20％）
③ 読み聞かせの状況について	週単位で実施	1校（9％）	0校（0％）
	月単位で実施	9校（82％）	0校（0％）
	未実施	1校（9％）	5校（100％）
④ 読み聞かせのボランティアやPTA母親委員の参加	参加がある	10校（91％）	0校（0％）
	参加がない	1校（9％）	5校（100％）
⑤ 読書習慣の実施等図書館のイベント	実施している	11校（100％）	4校（80％）
	実施していない	0校（0％）	1校（20％）
⑥ 学級文庫や特殊文庫などの設置	設置している	10校（91％）	4校（80％）
	設置していない	1校（9％）	1校（20％）
⑦ 保護者への子どもの読書活動啓発等の実施	実施している	5校（45％）	0校（0％）
	実施していない	6校（55％）	5校（100％）

可児市子どもの読書活動推進計画に関する実績アンケート調査まとめ（令和6年3月実施）

【県立高等学校】

アンケート回収率 県立高等学校 2校（100％）

施策の現状	可児工業高等学校	可児高等学校
①蔵書数 (令和5年4月1日現在)	26,047冊	29,061冊
②図書館の蔵書構成	様々な分野の本を所蔵している	様々な分野の本を所蔵している
③生徒の図書館利用率	低い方である	普通である
④課題図書に関する取り組み	実施していない	実施していない
⑤読書感想文の実施	書かせていない	書かせていない
⑥図書館のイベントの実施	実施している	実施している
【具体的な実施内容】	・読書週間に本を借りた人に、以前に図書館前に掲示してあったポスターをプレゼントする。 ・可児工祭（文化祭）に図書委員会として参加。	年に2時間「読書の日」というLHRの時間がある。本にちなんだ取り組みを各クラスの図書委員が考え、実施している。POP作成、ビブリオバトル、帯の作成、感想交流、クイズ大会など取組内容は多岐にわたる。生徒の自主性を重んじているため、内容は自由としている。

可児市子どもの読書活動推進計画（第5次）策定の経過

日程	会議等
令和6年6月	第4次計画の実績集計
6月21日	第1回委員会 ・第4次計画の実施結果と第5次計画の骨子
8月28日	第2回委員会 ・第5次計画の素案
10月 9日	第3回委員会 ・第5次計画の完成案
令和7年 1月10日～31日	パブリックコメントの実施 →意見等ありませんでした

令和6年度 可児市子どもの読書活動推進委員名簿

(敬称略)

氏 名	役 職
山本 学	可児市立桜ヶ丘小学校長（市立小中学校校長会図書館担当）
中西 竜也	岐阜県立可児工業高等学校長（市内公立高等学校代表）
田島 圭子	帷子第2幼稚園園長（市内幼稚園教育協議会代表）
成 順月	岐阜医療科学大学教授（岐阜医療科学大学図書館長）
可児 政彦	可児市青少年育成推進委員会育成部長
金子 孝司	可児市地区センター連絡協議会代表
堀井 恵	可児市PTA連合会子育て委員代表
前田 三紀	可児市読書サークル協議会会長
栗山 明子	可児市学校司書会代表
三條 陽平	株式会社ORDINARY BOOKS代表 カニミライブ図書館運営アドバイザー

【事務局】

飯田 好晴	市民文化部長
古山 友生	図書館長
宮崎 卓也	分館長（帷子分館・桜ヶ丘分館）
桜井 孝治	分館長（カニミライブ図書館）
熊澤 亜紀	係長
仲宗根 南美	司書

可児市子どもの読書活動推進計画（第5次）

発行年月 令和7年3月

発 行 可児市

編 集 可児市 市民文化部 図書館

〒509-0214

可児市広見570番地5

電話 0574-62-5120

FAX 0574-62-5303